

保護者のみなさまへ

学校教育アンケートのまとめ

はじめに

先日は、学校教育アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

本校におきましては、「学力を獲得し、部落差別をはじめすべての差別を許さない子どもを育てる」ことを学校教育目標にかかげ、「生きる力」を育む教育を目指しております。そのためには、確かな学力の向上や豊かな心とすこやかな体の育成が大切だと考えます。さらに、本校の学校教育をよりよいものにしていくためには、保護者や地域の方々の理解と協力が欠かせません。本紙「学校教育アンケートのまとめ」を保護者の方にも見ていただき、学校と保護者・地域が1つになって、よりよい学校づくりを目指していきたいと考えております。

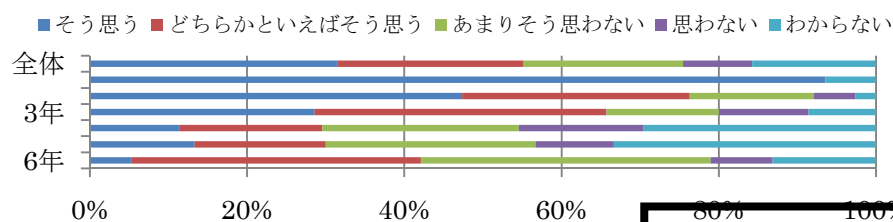
グラフの見方

児童と保護者には、ほぼ同じ内容で質問しています。上下2つのグラフのうち、上が児童のアンケート結果、下が保護者のアンケート結果です。

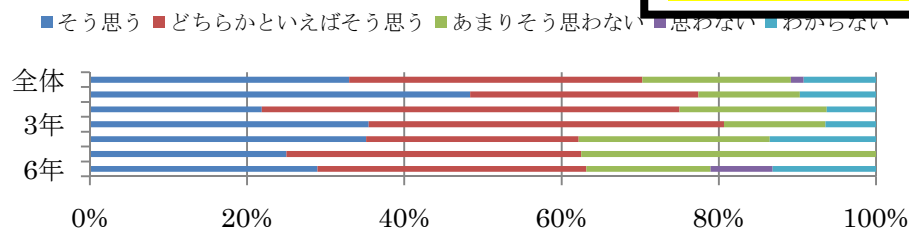
各質問項目において、その割合を各学年と学校全体に分けて棒グラフに表しています。

子 1クラス <small>にんずう</small> の人数が少なく、 <small>しゅうちゅう</small> 集中して授業 <small>じゆぎやう</small> に取り組むことができる	上が児童への質問内容 下が保護者への質問内容
保 少人数 <small>しょうにんずう</small> で学習 <small>がくしゅう</small> ができ、子どもたちは集中 <small>しゅうちゅう</small> して取り組めた	

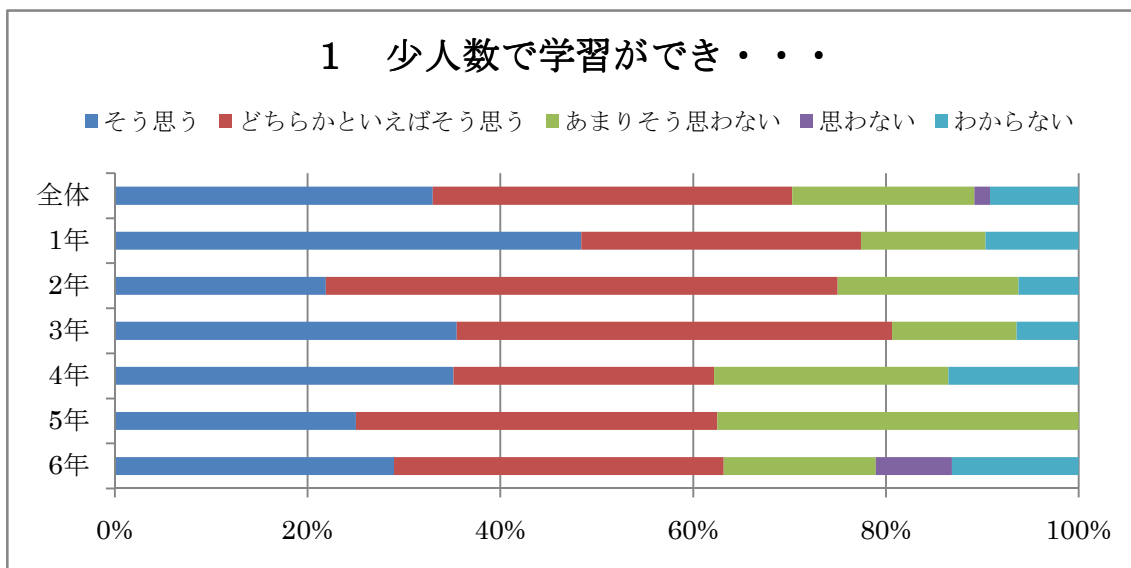
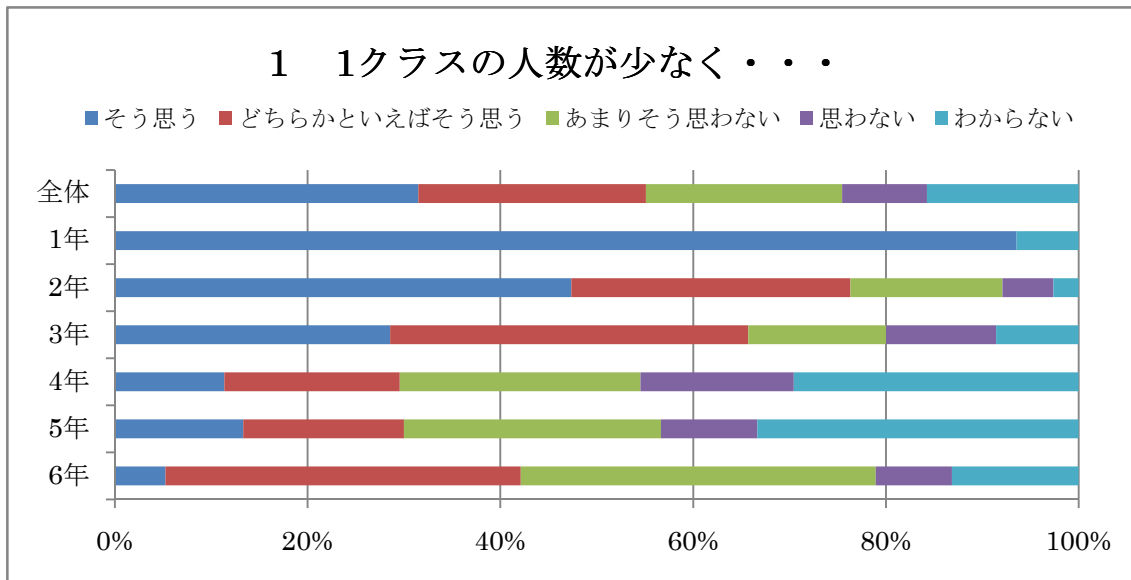
子 1 1クラスにんずうの人数が少なく・・・



保 1 少人数しょうにんずうで学習がくしゅうができ・・・



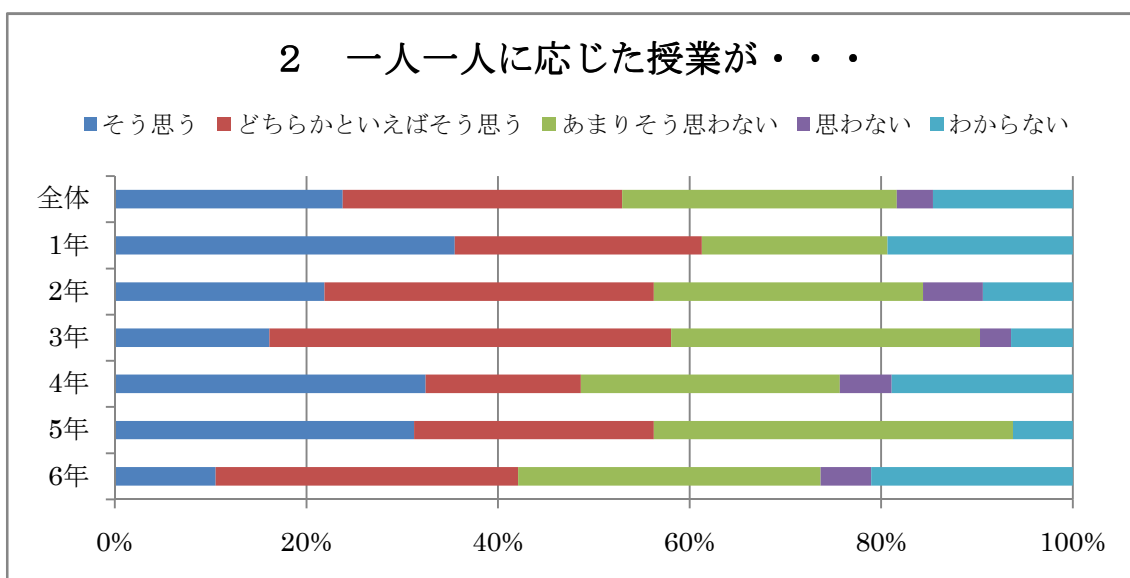
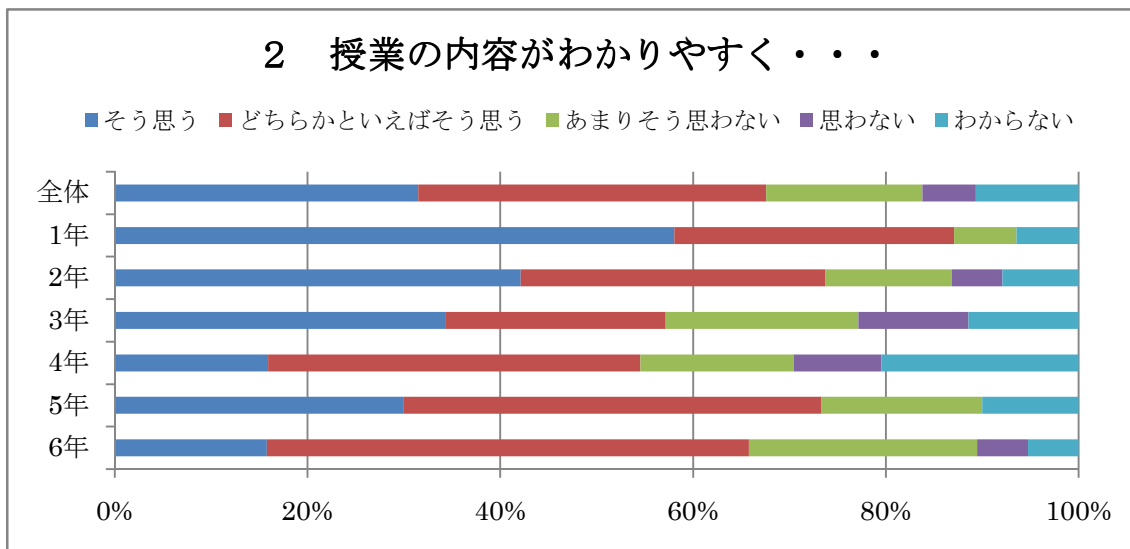
見 1クラスの人数が少なく、集中して授業に取り組むことができる
 保 少人数で学習ができ、子どもたちは集中して取り組めた



ここ数年、大阪府の政策により、学校の教職員数が削減されています。そんな中において、本校においては、子どもへのきめ細かい指導を最優先に考え、人員のやりくりをしながら、「少人数指導」を続けてきています。子どもたちにとっては、他と比べることがなく、「これが当たり前」と感じているのではないかと思います。しかし、今回のアンケート結果から、まだまだ学校としての改善の必要があるとは思いますが、多くの保護者の方から支持をいただいていると思われまます。

児 授業の内容がわかりやすく、進んで取り組んでいる

保 一人一人に応じた授業がなされ、子どもたちは進んで取り組んだ

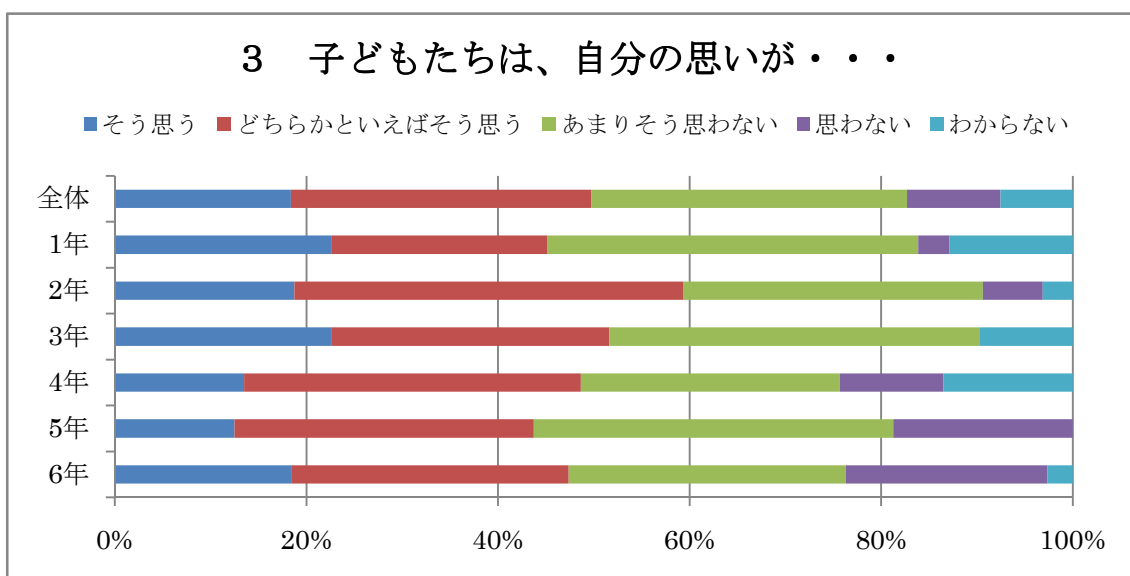
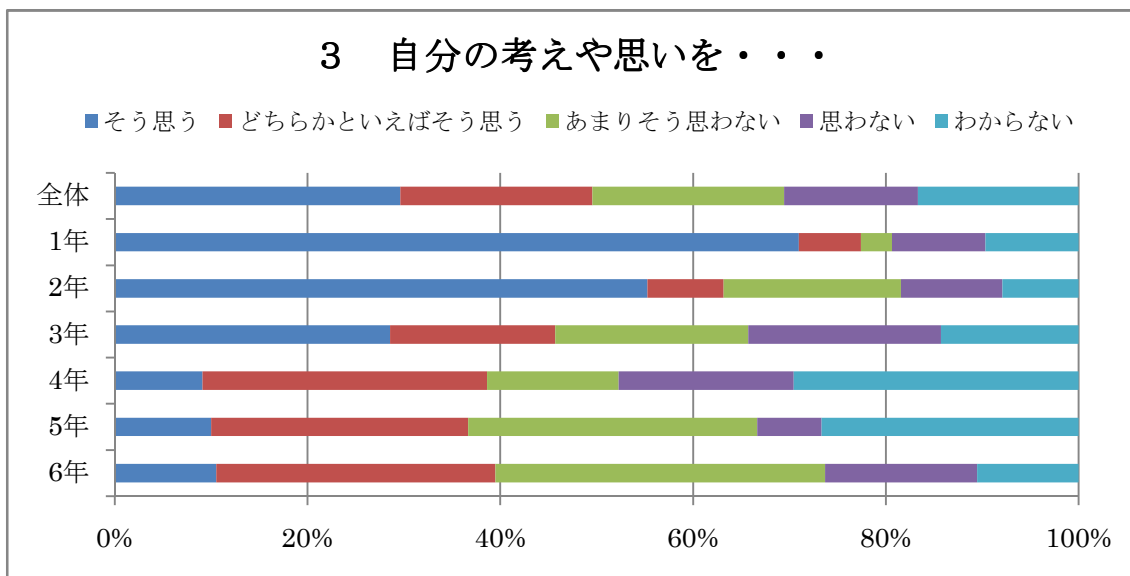


本校では、学力向上に向けた研究に取り組んでいます。特にこの数年は、算数科を中心に、基礎学力定着に向けた指導の工夫をしています。それにより、子どもたちの計算力や問題解決能力が少しずつ伸びてきているという成果があらわれてきています。

今回のアンケート結果からは、全校児童の7割近くが「授業がわかりやすい」と答えています。今後とも、学力向上に向けた研究に取り組んでいきたいと考えています。

児 自分^{じぶん}の考^{かんが}えや思^{おも}いを、きちんと相^{あいて}手^{つた}に伝^{はな}わるように話^{はな}している

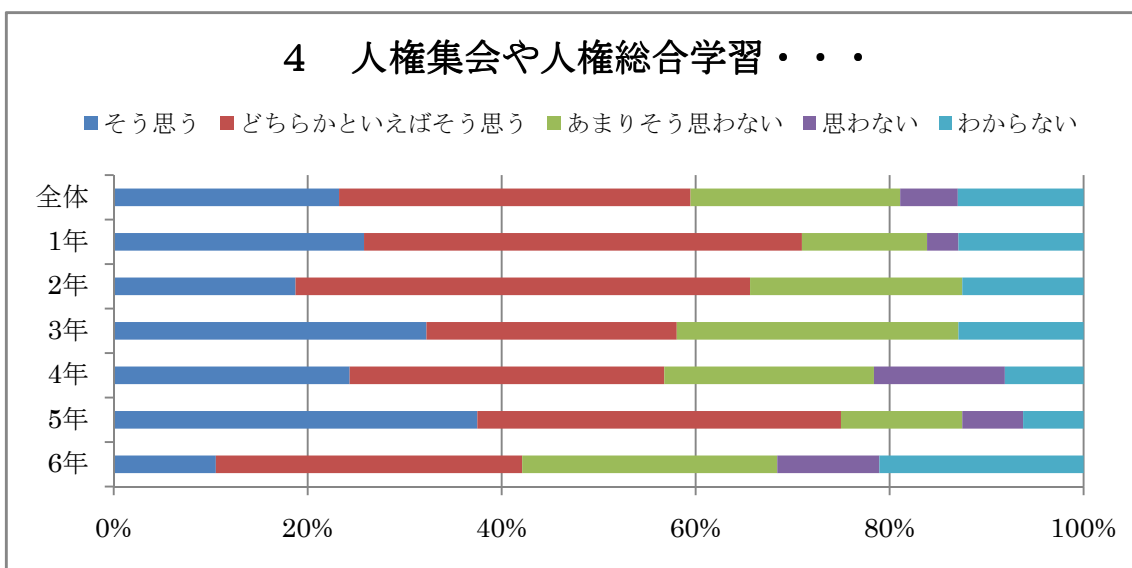
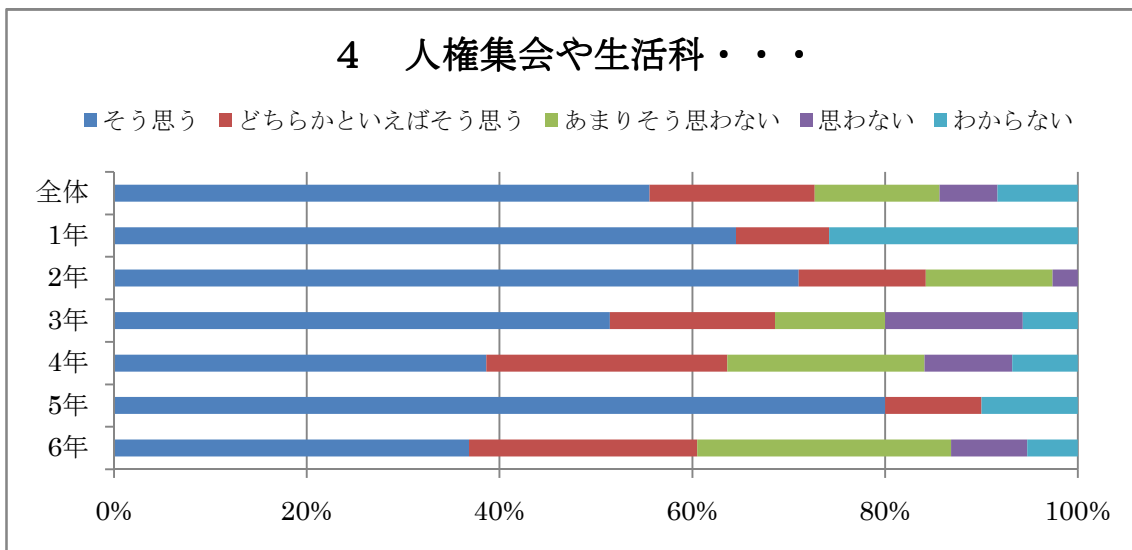
保 子^こどもた^{じぶん}ちは、自^{おも}分の思^{おも}いがきちんと相^{あいて}手^{つた}に伝^{はな}わるよ^{はな}うな話^{かた}し方^{かた}をしてい^{はな}る



全国的に、子どもたちのコミュニケーション能力の低下が指摘されています。本校の児童も、授業中、自分の考えをきちんと表現できなかつたり、友だちに自分の思いをうまく伝えられずにトラブルになったりすることがあります。本校では、授業中だけでなく、普段の会話においても、相手にきちんと伝える話し方やその大切さを子どもたちに指導しています。

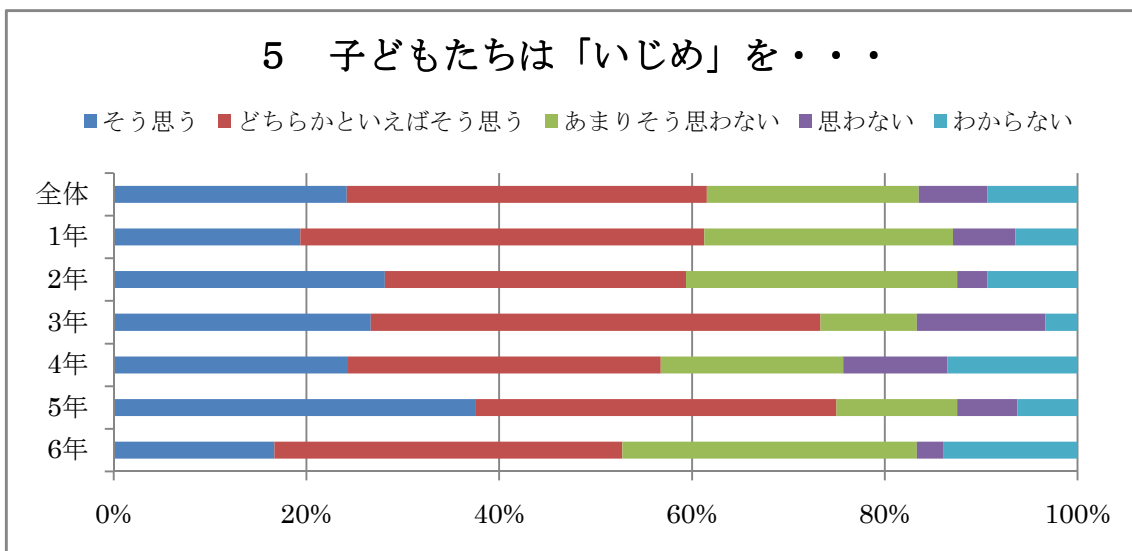
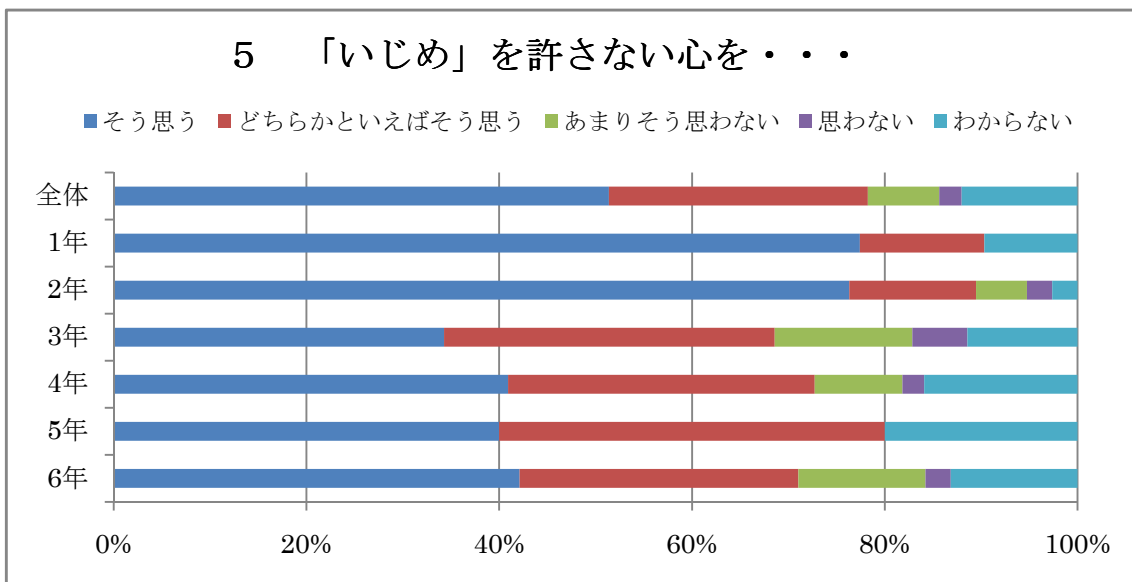
今回のアンケート結果から、児童も保護者もほぼ半数が「できていない」「わからない」と答えています。その傾向が、高学年になるにしたがって高くなることが課題であると考えます。

見 じんけんしゅうかい 人権集会や せいかつ か 生活科・ じんけんそうごうがくしゅう 人権総合学習などで、 かつどう いろいろな活動をする たの ことが楽しい
 保 じんけんしゅうかい 人権集会や じんけんそうごうがくしゅう 人権総合学習・ たよう 生活科などで たいけんかつどう 多様な体験活動 こ をすることで、 ゆた 子どもの豊かな こころ 心が育っている



本校では、人権集会や人権総合学習・生活科などで、様々な体験活動に取り組んでいます。車いす体験や米作り体験など、学年に応じた体験活動をすることで、教科書からだけでは学べない貴重な体験をすることができます。全校児童の7割以上の子どもたちが「楽しい」と感じていることがわかります。実際に子どもたちがどんな活動をしているのかを、「学年だより」などを通して保護者の方にお知らせしようとしていますが、十分にお伝えできていないところもあるかと思えます。また、機会がありましたら、子どもたちと、ご家庭でもそんな話題で話していただければと思います。

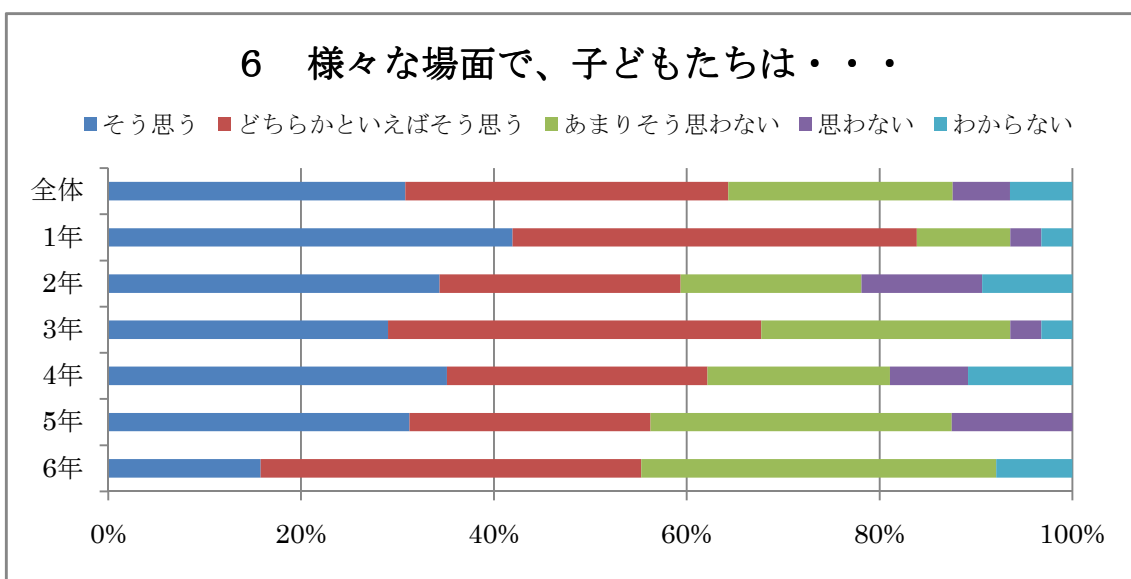
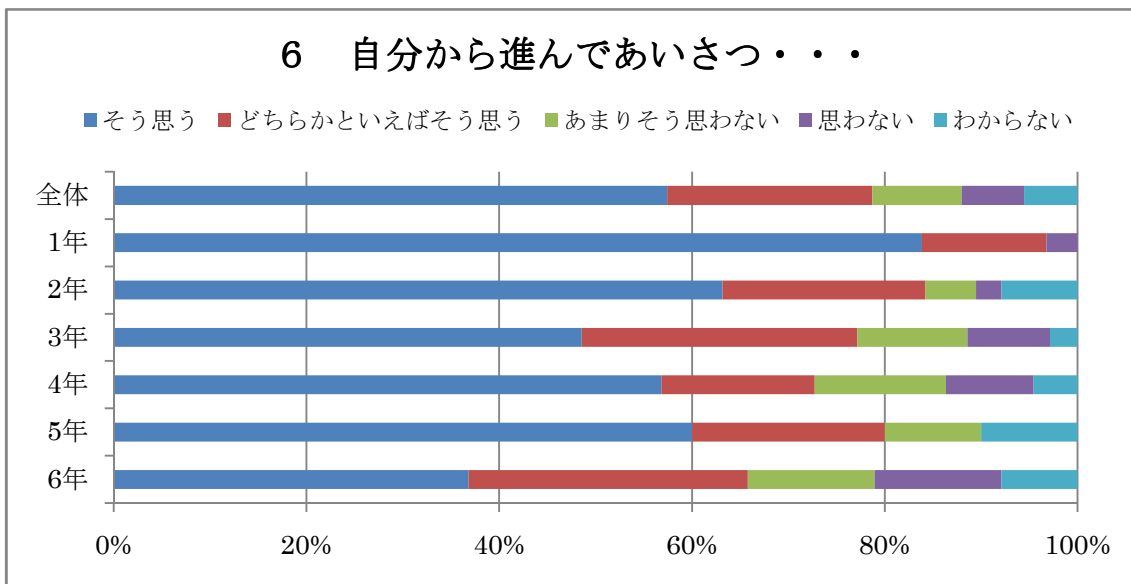
児 「いじめ」を許さない心^{ゆる}をもち、友だちとなかよく、ささえ合^あっている
 保 子どもたちは「いじめ」を許さない心^{ゆる}をもち、友だちと支え合^あい高め合^あっている



本校では、人権教育を根底にすえた学校教育に取り組んでいます。「いじめ」が起こったときには、担任や学年を中心に、学校全体として問題解決に取り組んでいます。また、「いじめ」のない集団づくりに向けた取り組みや日々の話し合い活動などにも力を入れ、互いに支え合う集団を目指しています。子どものアンケート結果から、高学年になれば少し割合はへる傾向にありますが、8割近くの子どもたちが「がんばっている」ことがわかります。しかし、これを保護者の側から見ると、2割ほどその割合が低くなっています。子どもが気づいていないところや学校側も見えていない部分があるのではないかと思います。保護者と学校がつながりながら対応していくことが大切だと感じています。

児 ^{じぶん} ^{すす} 自分から進んで、「あいさつ」ができるようになってきた

保 ^{さまざま} ^{ばめん} ^こ 様々な場面で、子どもたちは、「あいさつ」ができるようになってきた

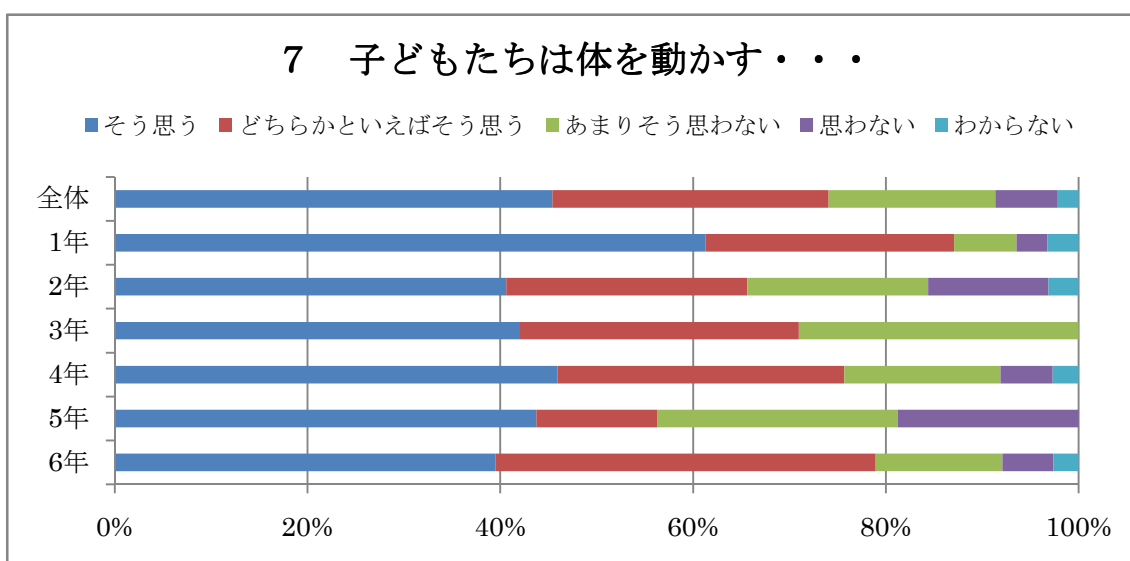
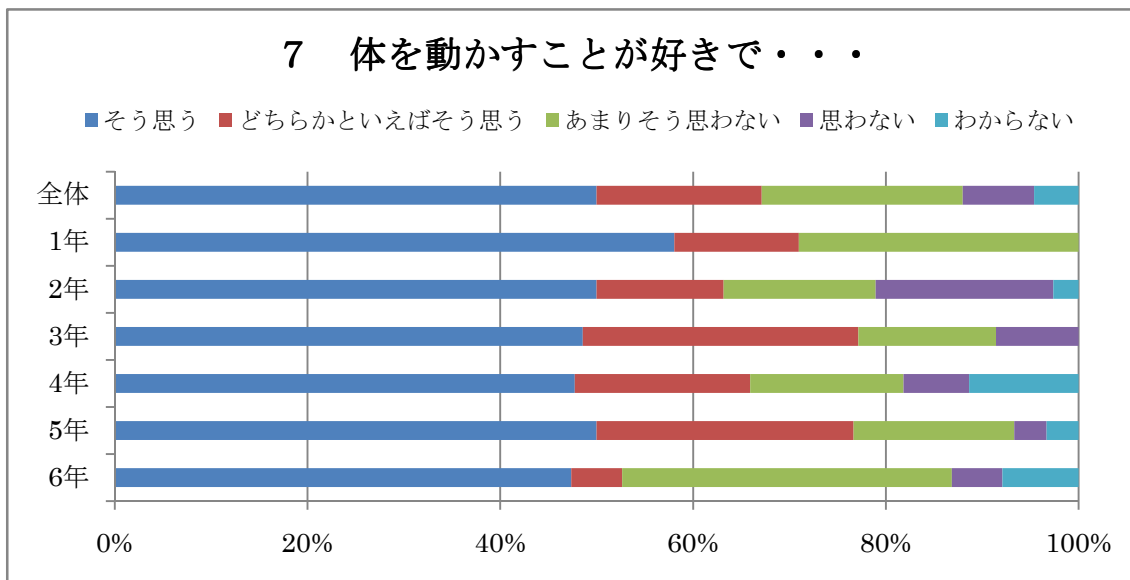


本校では、児童会を中心に「あいさつ運動」に取り組んだり、児童朝会や教室などでもあいさつ指導をしたりしてきました。そのために、朝の登校時、自分から進んであいさつをする子どもが増えてきました。しかし、保護者のアンケート結果からもわかるように、「様々な場面で」となるとまだまだ不十分なのかも知れません。

「おはよう」から「おやすみ」まで、一日のうちであいさつする場面はたくさんあります。また、あいさつは、人と人をつなぐ大切なコミュニケーションです。どうかご家庭でも日々のあいさつを大切に心がけていただければと思います。

児 体^{からだ}を動か^{うご}す^すことが好きで、よく運動^{うんどう}している

保 子^こどもたちは体^{からだ}を動か^{うご}す^すことが好きで、よく運動^{うんどう}している

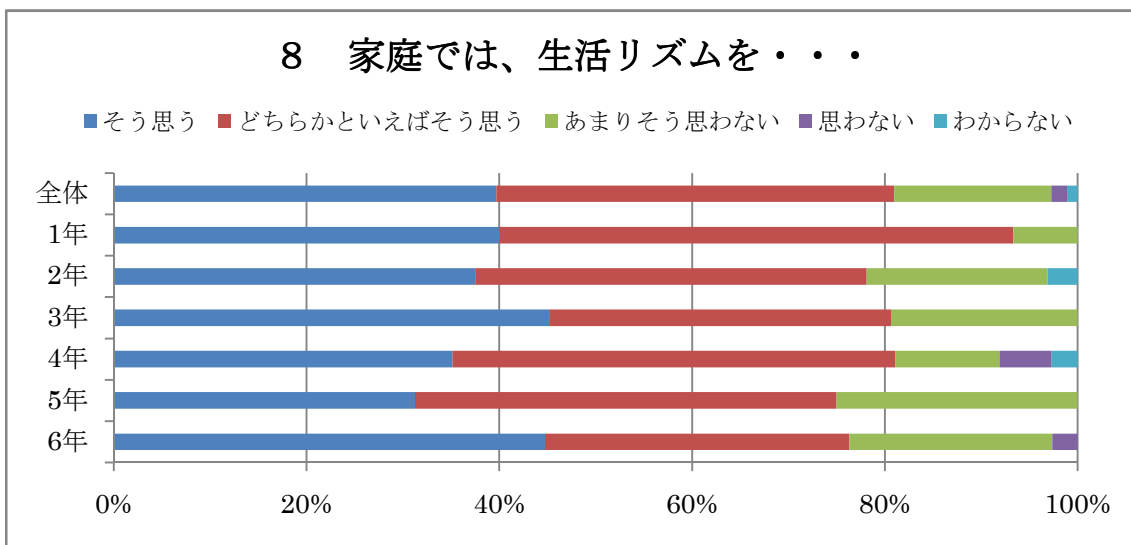
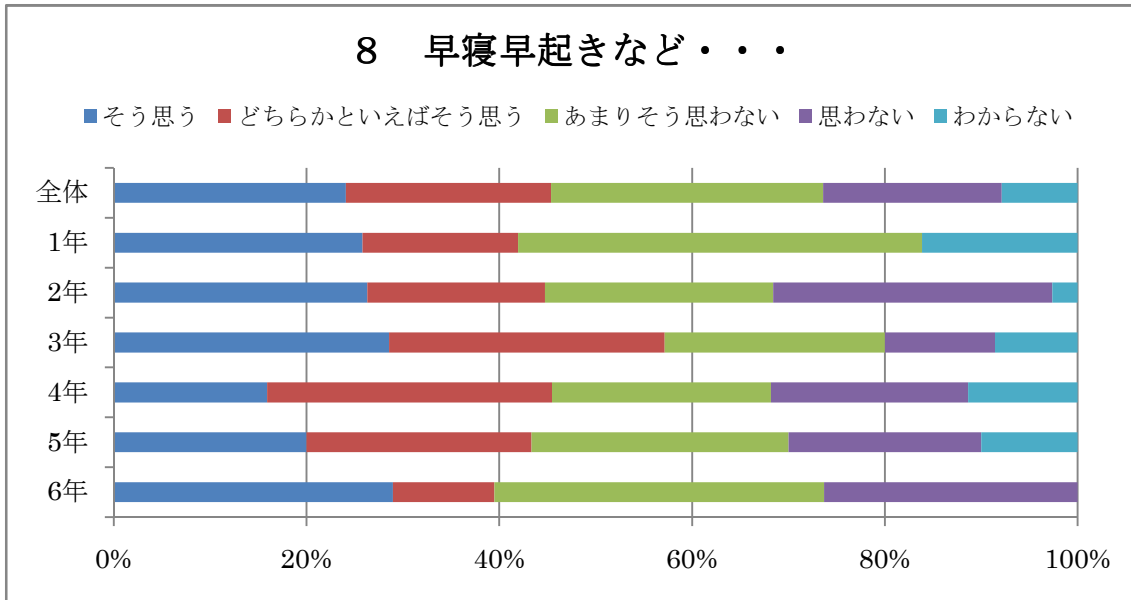


全国的に子どもの体力低下が問題となっています。学校内だけでなく、地域においても、外で遊ぶ子が減り、部屋の中で遊ぶ子が増えてきています。

本校の子どもたちも例外ではありません。そこで、休み時間に運動場で精一杯遊べるように、20分の休み時間をもうけたり、ボールなどの遊具を貸し出ししたりしています。

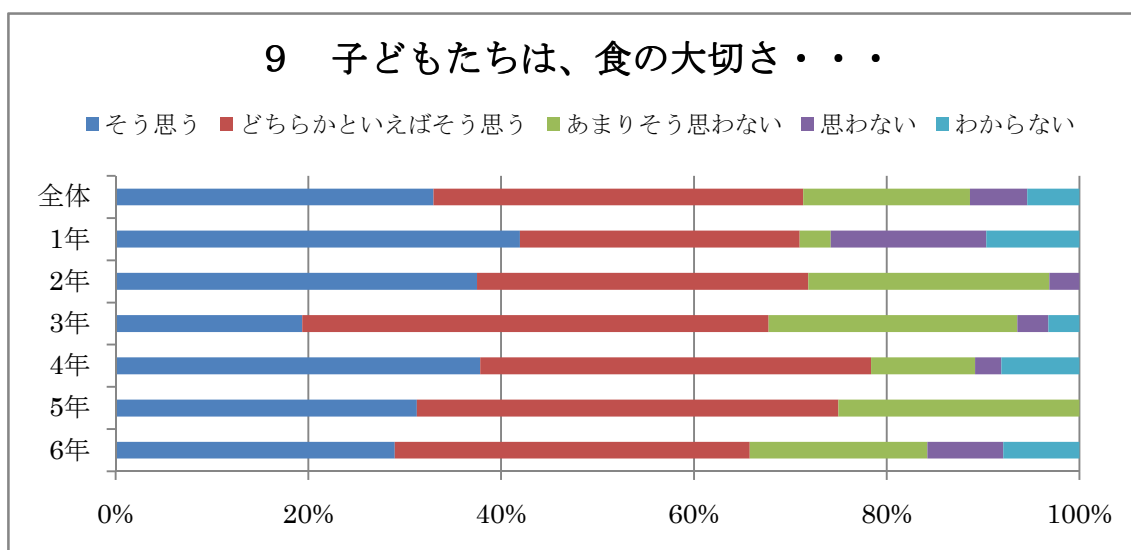
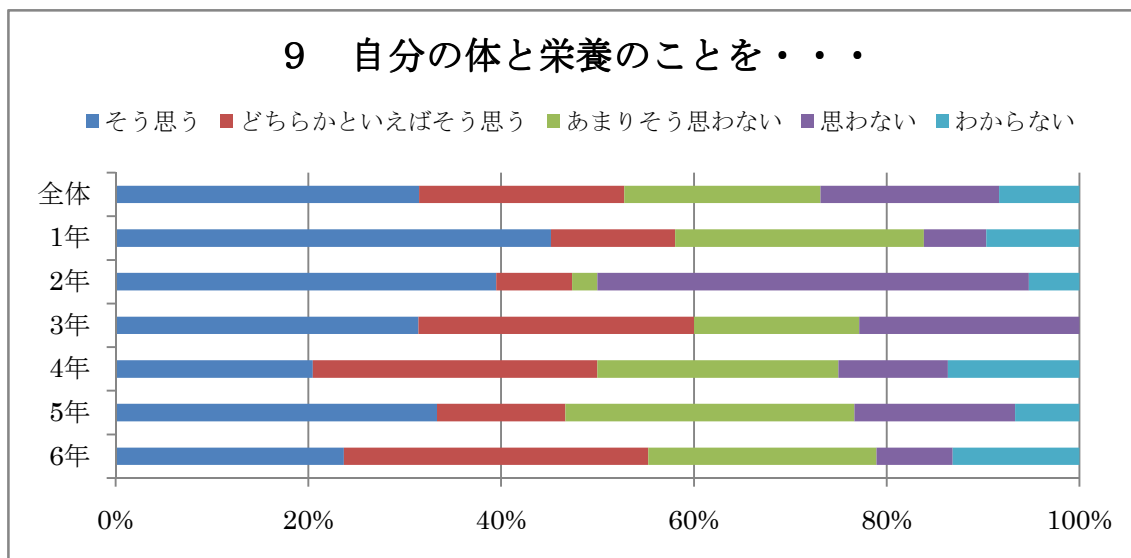
運動が好きになることは、健康への第一歩だともいえます。ご家庭でも、ご家族そろって運動に親しむ機会をつくってみてはいかがでしょうか。

児 ^{はやねはやお} 早寝早起きなど、^{せいかつ} 生活のリズムに気をつけて生活している
 保 ^{かてい} 家庭では、^{せいかつ} 生活リズムを ^{ととの} 整えることができるように ^{つと} 努めている



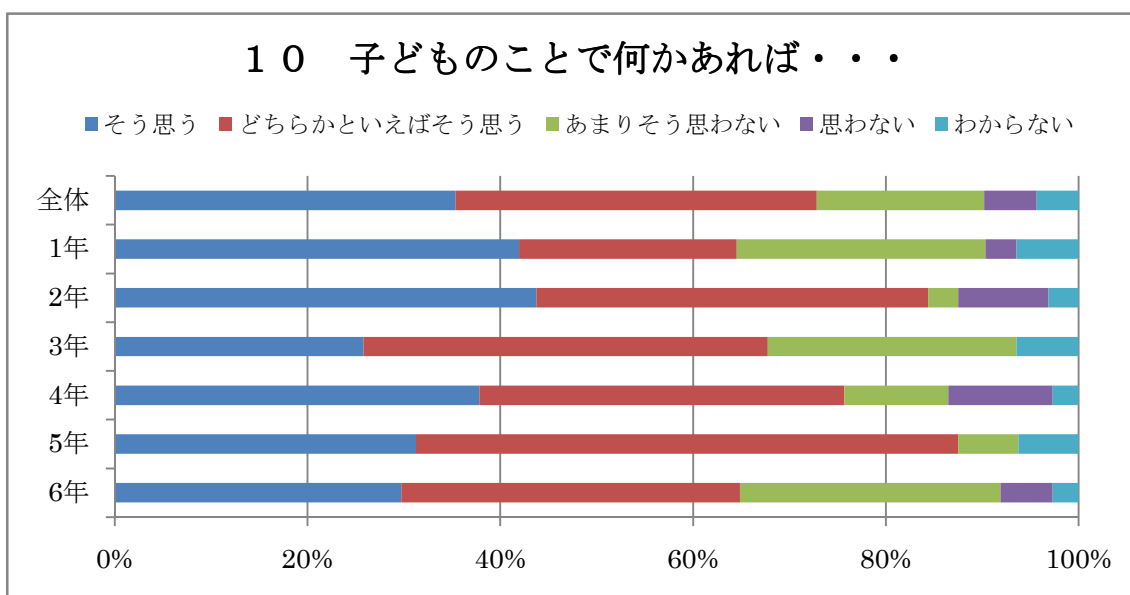
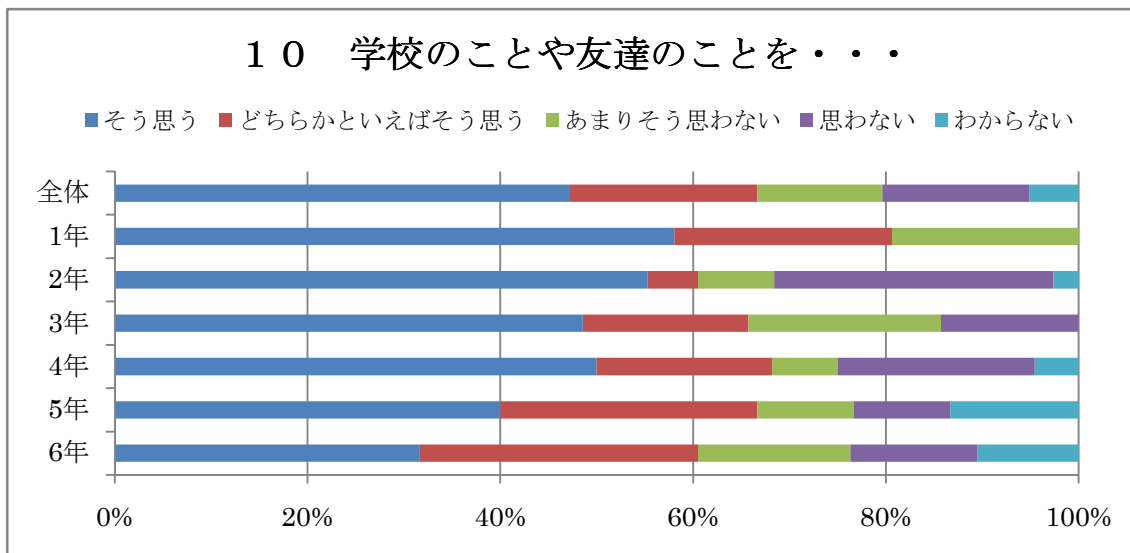
約8割の保護者の方が、「家庭では、生活リズムを整えることができるように努めている」と回答しているのに対して、「気をつけて生活している」と答えた子どもは全体の半数程度です。「はよ寝えや」「はよ起きや」などと声をかけても、なかなか子どもたちが言うことをきかないといったところでしょうか。食事や睡眠といった基本的な生活習慣は、成長期の子どもたちにとっては特に重要です。学校生活だけでなく、家庭生活のことについても、学校と家庭が協力して対応して進めていきたいと考えています。

児 自分^{じぶん}のからだ^{えいよう}と栄養^{かんが}のことを考^すえ、好き^たきらいなく食^たべることができる
 保 子^こどもたちは、食^{しょく}の大切^{たいせつ}さがわかり、好き^すき嫌い^{きら}なく食^たべることができる



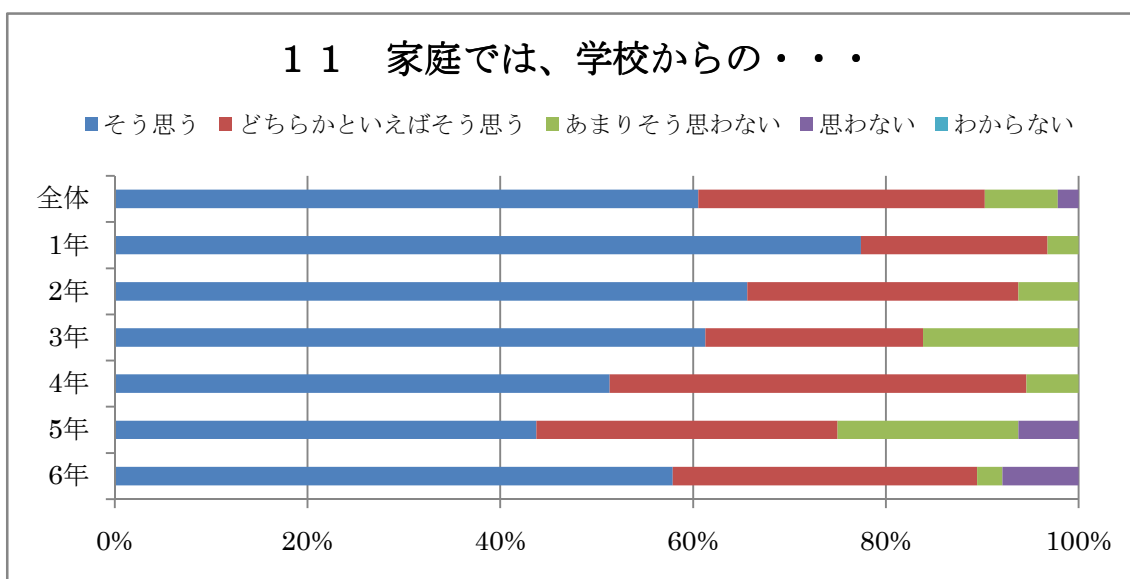
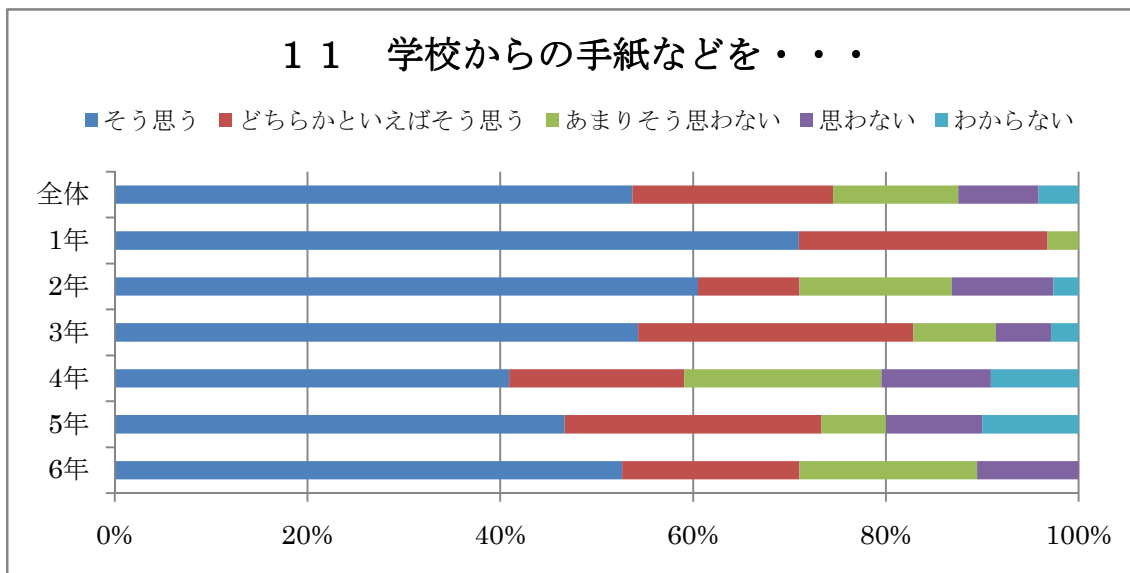
子どもたちの給食のようすを見ていると、食事中立ち歩いたり、大声で話したり、好き嫌いが多かたりする子が目につきます。学校では、給食時間以外の場でも、食の大切さや栄養などに関することを「食育」として指導しています。1日3回の食事は、子どもたちにとって、健やかな成長を支える重要な営みです。栄養面や食事のマナーについて、ご家庭でもご指導していただければと思います。

児 ^{がっこう} 学校のことや ^{ともだち} 友達のことを、おうちでよく ^{はな} 話している
 保 ^こ 子どものことで何かあれば、^な 学校と ^{がっこう} 保護者が ^{ほごしゃ} 連携し ^{れんけい} 対処している ^{たいしよ}



保護者の方との懇談会の中でも、「学年が上がるにつれて、学校のことを家であまり話さなくなる」という話をよく耳にします。今回のアンケート結果でもそのことがはっきりと表れています。「子どもってそんなもんや」と言ってしまうえばそれまでですが、本当は、家の人にもっと話したいことや聞いてほしいことがあるのではないのでしょうか。学校でも家庭でも、何でも話せる雰囲気みたいなものを大切にすることが、今、重要なのではないかと考えます。そして、子どもの「気になること」を家庭と学校が共有し、ともに協力して解決していくことができればいいですね。

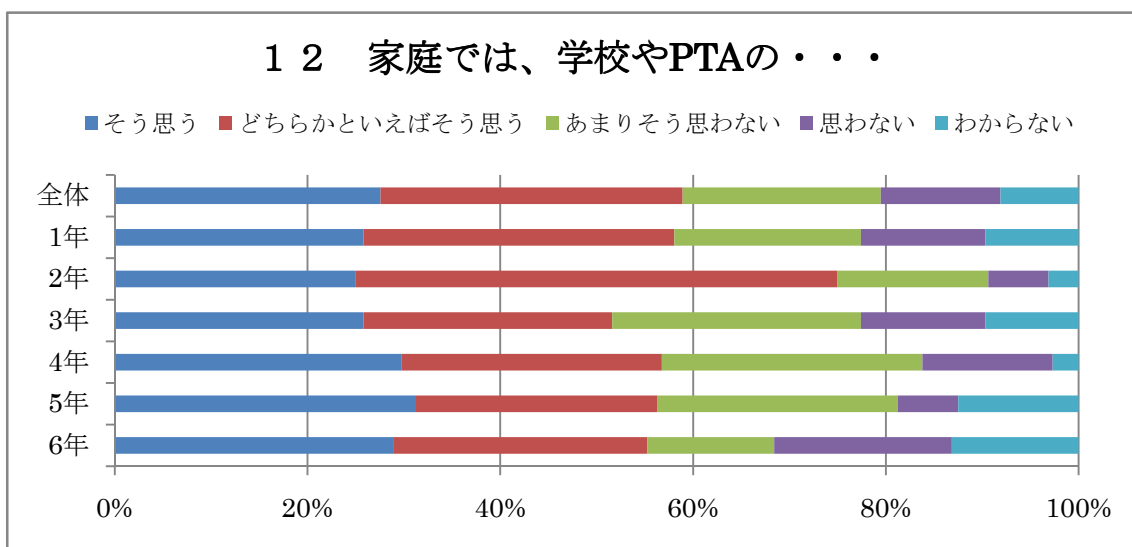
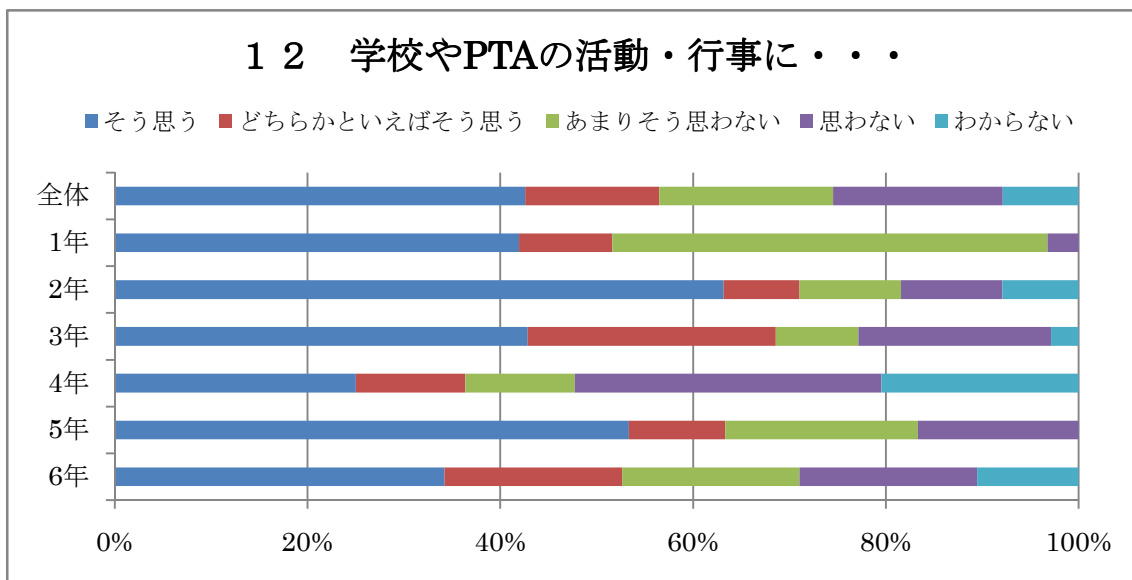
児 ^{がっこう} 学校からの手紙などを、^{てがみ} おうちの人に^{ひと}きちんとわたしている
 保 ^{かてい} 家庭では、^{がっこう} 学校からの^{はいふ}配布プリントをよく^よ読んでいます



当然のことですが、子どもたちが保護者の方に、学校からの手紙をわたしている割合が高ければ、保護者の方が手紙を読んでいる割合も高くなります。また、その反対も言えます。学校からの手紙には、参観・懇談会の案内や学校だよりや保健だよりなどがあります。どの手紙にも、学校が保護者の方々に伝えたいメッセージが含まれています。1枚の手紙をただ無言でやりとりするだけでなく、その手紙の内容を話題にして、子どもたちと会話してはいかがでしょうか。そんなことを通して、保護者の方も何か新たな発見ができるかもしれませんよ。

児 がっこう 学校やPTAの活動や行事によく参加している

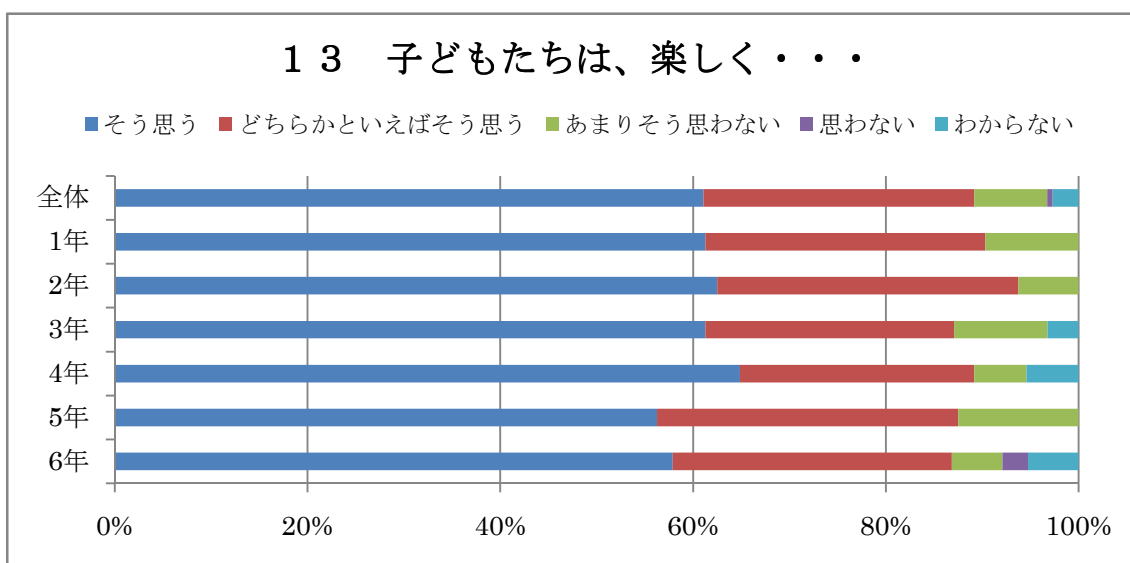
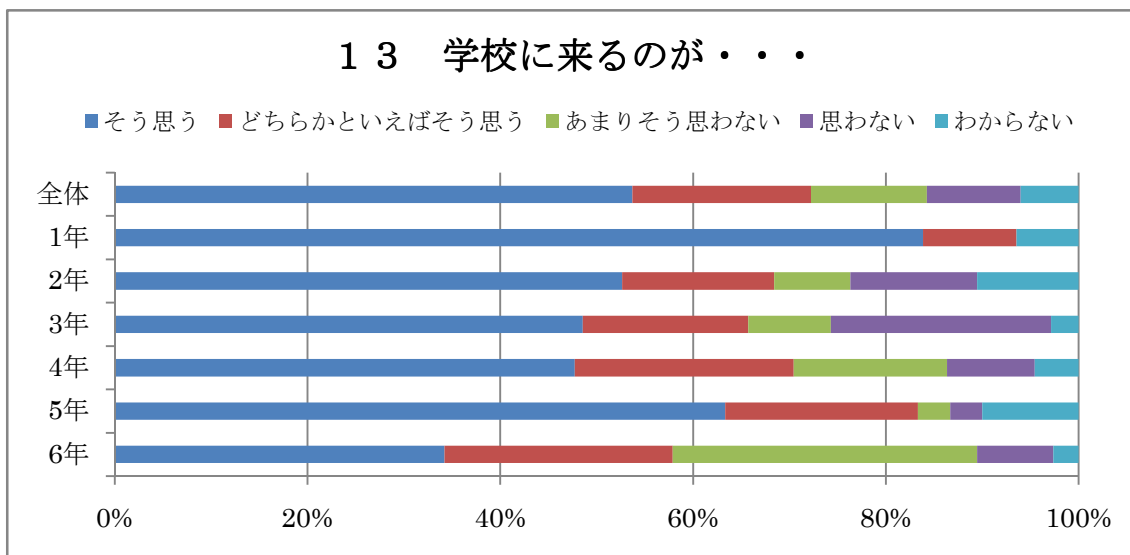
保 かてい 家庭では、がっこう 学校やPTAの活動や行事に積極的に参加している



保護者の方に参加していただく学校行事として、運動会や学習参観・懇談会などがあります。それに対して PTA 主催の行事としては、小運動会や夏の祭り、「親子ふれあい・・・」などがあります。どちらも、子どもを中心として、家庭と学校がふれあうことにつながりを深めることをねらいとしています。子どもも保護者の方も、6割近くの方が「参加している」と回答しています。今後この割合がさらに高くなり、子どもたちと保護者、そして学校がつながり、学校の教育力をもっと高めていけたらと考えています。

がっこう 学校の くるのが、楽しい

保 護 子 ども たち は、 楽 し く 学 校 に か よ っ て い る



1年生の子どもたちのほとんどが「学校が楽しい」と感じています。その割合が、学年が上がるにつれてだいたい下がっています。その要因として、成長とともに、学習のことや友だちのことなど、様々な「悩み」を抱え始めるということなのではないかと思えます。それに対して、ほぼ9割程度の保護者の方は、学年に関係なく、「楽しく」すごしているだろうととらえています。これには、保護者の方々の「願い」のようなものも含まれているのではないかと思います。成長とともに、子どもの「悩み」がより複雑になり、見えにくくなっていくということもあるのではないのでしょうか。子どもの抱える「悩み」を、家庭と学校がともに見つけ、支えていけたらと考えています。